
酒田港の工事現場を見学する
「大人の社会科見学」(第1弾 防波堤ケーソン製作現場)
について、マスコミの方々にも公開します。

港湾における工事に対し、広く一般の方に関心をもっていただくための「大人の社会科見学」第1弾として、防波堤ケーソン製作現場（フローティングドック）の見学について募集したところ、15名の応募がありました。
つきましては、以下の通り、報道関係の皆様にも見学会を公開いたします。

- 日 時：平成28年8月20日（土）荒天時中止（小雨決行）
- 受付開始：9：30～
- 集合場所：酒田市宮野浦字家岸708-1
- 見学会への取材をご希望される報道関係者の方は、8月19日15時までに、以下の問い合わせ先に、別添申し込み様式にてFAXでお申し込みください。
- 見学会内容はすべて取材可能です。見学会の詳細は、別紙チラシを参照ください。

〈発表記者会：酒田記者クラブ〉

【問い合わせ先】国土交通省 東北地方整備局 酒田港湾事務所 企画調整課

電 話：0234（33）6314

FAX：0234（35）2141

課長 鮎貝（あゆがい）、係長 斉藤

【申し込み様式】 ※申込期限：平成28年8月19日（金）15時必着

FAX：0234-35-2141

東北地方整備局 酒田港湾事務所 企画調整課 鮎貝、斉藤 行き

件名：「大人の社会科見学」～第1弾 防波堤ケーソン製作現場～

日時：平成28年8月20日（土）

受付開始：午前9:30～

場所：酒田市宮野浦字家岸708-1

留意事項：

- (ア) 現地では係員の指示に従ってください。
- (イ) 集合場所までは各自で集合願います。
- (ウ) 当日になって、急遽、見学会の中止をする場合は、参加申し込みされた連絡代表者の連絡先（携帯電話）に電話連絡いたします。
- (エ) 当日、ケーソン製作現場見学の際は、ヘルメットを着用する必要がありますので準備・持参をお願いします。ヘルメットを準備できない方については、こちらで手配可能ですので、申込時に連絡願います。

報道機関名	
氏名 (全員の氏名を記入)	代表者) ----- 同行者)
TEL (代表者携帯電話番号)	
FAX	
E-mail	
借用希望	ヘルメット ----- 個

【個人情報のご記入にあたって】

ご記入いただきました個人情報は、今回の取材に関する管理、ご連絡にのみ利用させていただきます。

大人の社会科見学

第1弾 防波堤ケーソン製作現場

事前申込み制
先着順



酒田港の工事現場を見てみませんか？

平成28年

8月20日 土

- 日時 : 平成28年8月20日(土) 荒天時中止(小雨決行)
9時30分～11時30分
- 定員 : 先着20名(事前申込み)
- 対象者 : 18歳以上で健脚の方
- 参加費 : 無料
- 集合場所 : 酒田市宮野浦字家岸708-1(裏面参照)

【申込方法】 メールまたはFAXにて

【申込期間】 平成28年7月28日(木)～8月17日(水)

【申込み先】 国土交通省東北地方整備局酒田港湾事務所企画調整課

メール : pa.thr-i-sakata@mlit.go.jp

FAX : 0234-35-2141

【問い合わせ先】 0234-33-6314

※問い合わせ専用ダイヤルです。申込みはメールまたはFAXでお願いします。

■ 申し込みに関する注意

➤「大人の社会科見学 第1弾」の申込みである旨を記載し、参加希望者全員の

①氏名(ふりがな)

②年齢

③生年月日

④性別

⑤荒天時の中止をお知らせする電話番号をご記入の上、【申込み先】までお送りください。(様式自由)

同一の参加者名による複数の申込みは無効とします。

➤荒天による中止の判断は、前日(19日(金))15時に行い、19日中に上記⑤にてご連絡いたします。

■ 参加に関する注意

➤歩きやすい靴・服装でおいでください。

➤熱中症対策、雨具(カッパ)の準備は各自でお願いします。

➤見学中は、当事務所で用意するヘルメットを着用していただきます。

■ 集合場所 下図のとおり



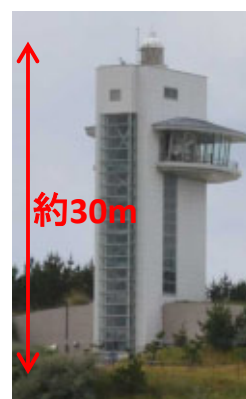
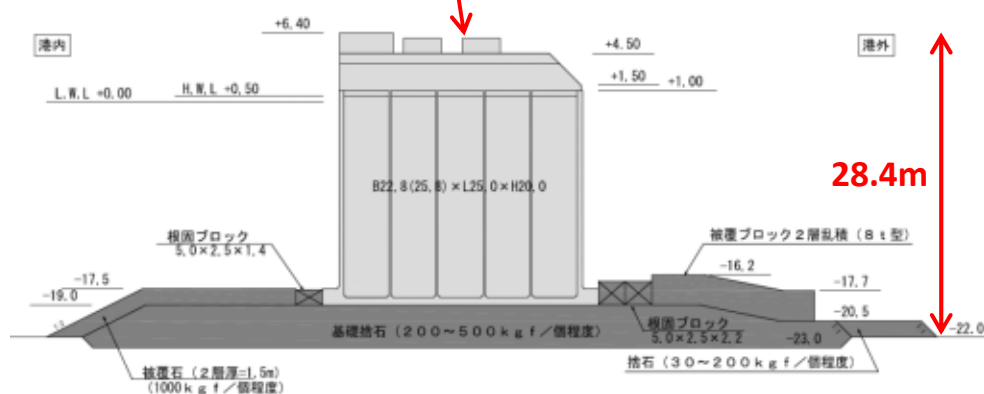
※お申し込みの際にご提供頂いた個人情報は、本企画に関する連絡のみに使用いたします。

酒田港第二北防波堤ケーソンについて

ケーソン設置位置



第二北防波堤標準断面図



北港緑地展望台

※ 「ケーソン」とは、鉄筋コンクリート製の箱のようなもので、海中に並べることで防波堤を構成します。波の激しい外海に面している第二北防波堤には、酒田港で最大級のケーソンが使われており、海底面からの高さは北港緑地展望台(約30m)と同じぐらいになります。

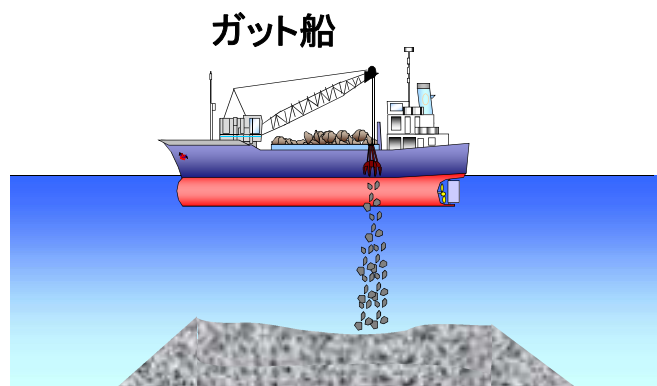
酒田港の概要について

山形県唯一の重要港湾。港内の火力発電所向けの石炭を多く輸入していますが、特に最近では、中国・ロシア向けの紙おむつ等生活物資の輸出を背景として、平成27年の外貿コンテナ取扱貨物量が前年比60%増の22,028TEU(過去最高)となるとともに、国際定期コンテナ航路も昨年、週3便から週7便に倍増するなど、利用が拡大しています。

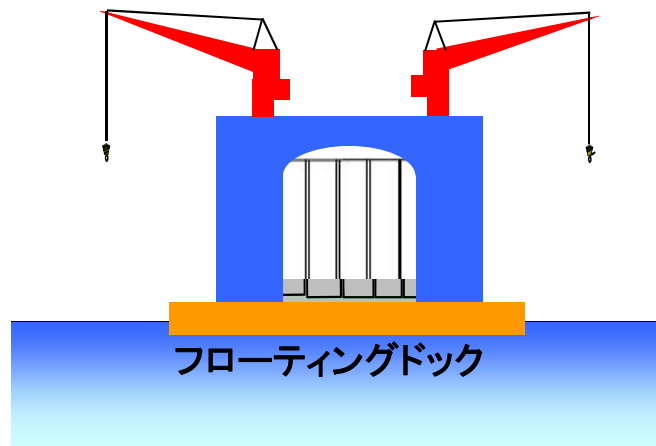
○防波堤工事手順(イメージ図)

※赤枠箇所: 今回の見学会で見学可能な工事内容

①基礎マウンド造成

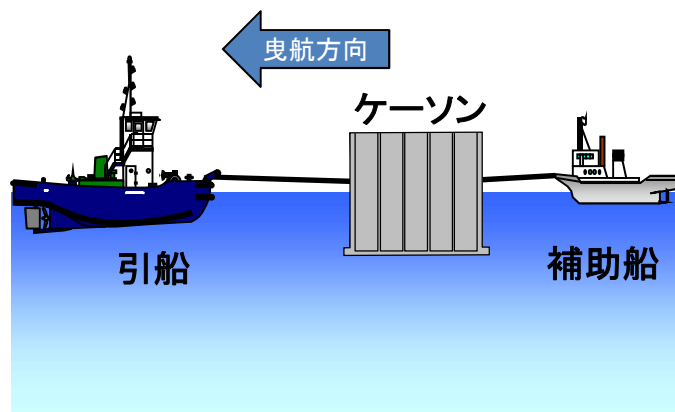


②ケーソン製作



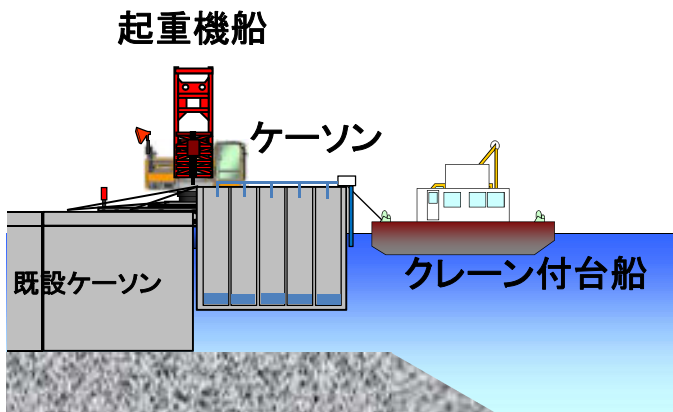
③ケーソン曳航

※ケーソンの中の水を抜き、浮かせて曳航

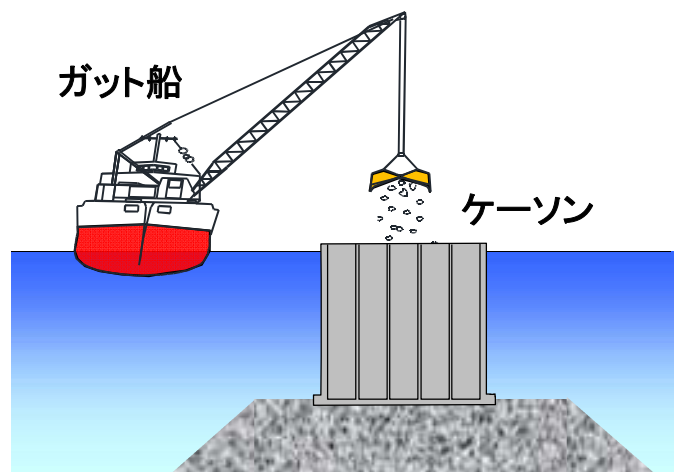


④ケーソン設置

※ケーソンに注水し、基礎マウンド上に沈設



④中詰材投入



⑤上部コンクリート打設

